

## 第3次創甲斐教育推進大綱における評価指標について

### 1 評価指標について

評価指標は、市が目指す方向に向かって施策を推進できているかを測る基準の一つとなるものであり、第3次計画においても第2次計画と同様、評価指標を設定します。

達成状況については、毎年度振り返りを行い、結果を市民に公表することにより説明責任を果たすとともに、施策の改善・見直しに役立てていきます。

### 2 評価指標の設定について

第3次計画の指標の設定にあたっては、次の考え方にに基づき検討しました。

- ・市が実施する施策内容を評価するもの（市で何をどこまで実施するのか）
- ・市が実施する施策の効果を図るもの（実施により結果をどうしていくのか）
- ・市民が、各種施策の進捗状況や効果を把握することができるもの（市民への説明責任を果たすことができるもの）

### 3 評価指標の考え方について

施策の評価をする際には、「予定していた事業が実施できたか」、「期待していた効果を得ることができたか」、「目指していた姿（状態）を達成できたか」など、様々な要素を総合的に判断して行います。

評価指標の目標値（R11年度の目標値）は、市が目指すべき将来の姿の一つの例として設定しています。これが達成できたから良かった、達成できなかったから良くなかったということではなく、指標が達成できなかった場合には「なぜ達成できなかったのか」「内容や方法は適切だったか」等の検証を踏まえ、前向きな改善に繋げていくこととします。

評価指標については、施策の妥当性を検証する材料、また、点検するための参考情報として活用していきます。